

まちの活性化を担う頑張る若者



山田 yamada kenta 健太さん



夏のaiパーク2012の様子
会場には多くの方が参加
していました。



コミュニケーションを大切に

少子 高齢化の影響はあらゆる分野に影響を与え、地元の商店街では後継者問題も深刻です。そのような中で、地域の活性化を図ろうと頑張る青年がいます。その1人が町内で建設資材を販売している山田健太さん(28歳)です。

当別 生まれの当別育ちです。大学院を卒業後、東京で約2年程、太陽光パネルの営業販売をしていましたが家業を継ぐために平成22年に当別へ戻ってきました。まず感じたのは同年代の若者が少なく、商店街全体の活気が無くなっていくことに危機感を感じました。活気を取り戻すために何かできないだろうか…まず町民のみなさんに商店街を知って欲しい、世代間交流の場を提供したいという思いから、中央通りにて「夏のaiパーク」というイベントを3年前に始め、事務局として参加しています。試行錯誤の連続で失敗も多々ありましたが、商店街を知っていただけるきっかけになったと思います。参

加店舗で買い物をすると抽選券を配布して抽選会に参加できるようにもしました。多くの方が利用してくれて、大変好評でした。

毎日 イベントを開催することは不可能です。日々の生活している中で、いかに商店街を利用(買い物)していただくか…。営業していてもお客さんが来なければ経営は成り立ちません。商業関係者で話し合った時に、若い世代や学生は商店街にどんなお店があるのか知らない方が多いということに気づきました。それを打開するために何をすべきなのか…まずは店舗情報の提供を行い、周知すること。例えばフリーペーパーを作成して割引クーポンを付けて配布する。色々と課題はありますが、商工会青年部にも所属しているので同年代の仲間とも相談しながら検討していきたいと思います。また、お店自体の魅力向上させるためにも、お客さんからの要望にもお応えし、商品を取り揃えていくことも必要なので積極的にコミュニケーション

を図りたいと思いますので、気軽にお声を掛けて下さい。実際にお知り合いになった方が買い物に来ていただいた時は嬉しかったです。

学生 の頃、実は教師になるのが夢でした。まずは家業である販売業に専念しなければなりません。将来的には店舗の空きスペース等を活用した学生用の簡易図書館や子ども達、そして高齢者が気軽に集まれるコミュニティスペースを設置し、町民と商店街がもっと積極的にふれ合えるきっかけ作りが出来れば…という密かな夢を持っています。本物の先生にはなれませんが、時間に余裕があれば、子どもに勉強を教えてあげてみたいですね。

「夏のaiパーク2013」の打合せ前に取材に応じていただいた山田さん。まちの活性化に対する思いや将来の夢を語るその目には当別の未来が描かれているのを感じました。これからの当別を担う若者の皆さんをこれからも応援したいと思います。(6月11日取材)